

# ISYF digital2021 参加体験記

13th International Science Youth Forum Digital @ Singapore

- 開催日 2021年1月19日～22日 オンライン開催
- 学校名 愛知県立一宮高等学校
- 参加者 水野莉央、平尾杏奈
- 指導教員 稲守将基
- 発表課題 無電解銅めっきの研究

## ●参加校推薦募集に応募

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で3月から5月末まで休校期間があったことや、部活動の活動時間の短縮期間が設けられるなど、研究時間の確保が難しい1年だった。さらに、多くの大会や交流会が中止となり他校の生徒との交流や研究成果の発表の場も少なく、研究に対するモチベーションを高く保つことが難しかった。

そのような中で、オンラインで ISYF2021 の参加生徒が募集されていることを顧問の先生から伺い、英語に対する不安はあったものの、世界の高校生と交流したいとの思いや、これまでの研究成果に対して意見をもらいたいとの思いで応募した。

## ●参加決定から短期間で準備

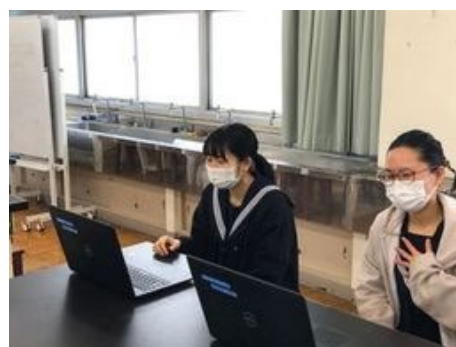
ISYF2021 に参加できることが決まってからは、発表までの期間が短く準備等で大変忙しかったが、今振り返ると非常に充実した日々だった。まず、ポスター展に出展するためにこれまで行ってきた研究をまとめ、英語でポスターを作るところから始めた。日本語を英語に翻訳してみると、以前作成した日本語でのポスターは曖昧な文章表現が多いことや文章量が多いことに気が付いた。英語でのポスター作成は初めての経験で、簡潔で分かりやすく表現することは大変だったが、英語に翻訳することで多くの気づきがあった。

## ●いよいよフェアへ参加

### 【Culture Exhibition / Culture Sharing】

Culture Exhibition では、参加者がそれぞれブースに分かれて自国の文化を紹介しあった。私たちは醤油や味噌、出汁などの調味料について実物を見せながら紹介した。思いのほか多くの方が見てくださり、日本の文化が注目されていることを実感した。

Culture Sharing では、各校の生徒が事前に送ったビデオを視聴した。中国や台湾、韓国は日本に近いので馴染みのある文化が多かったが、東南アジアの国は食文化や音楽、民族衣装が日本とは全く異なっていることに驚かされた。



英語でコミュニケーション

### 【Meet the Scientist】

Meet the Scientist では、世界的に活躍されている科学者たちの講演会が行われた。説明や英語を話すスピードが速く、ついていくことに必死だった。しかし、3日目や4日目には耳が英語に慣れてきて、少しだけではあるが内容を理解することができた。特に DNA についての講演が興味深かった。ヌクレオチド配列の特定部分を攻撃できる物質を用いゲノム編集を行うことで、人工的に変異させた植物を作り出すことができる。それが飢餓の改善に繋がることが期待されているというものだ。世界の最先端の研究や技術に触れることができ、とても貴重な経験となった。

### 【Poster Awards and Showcase】

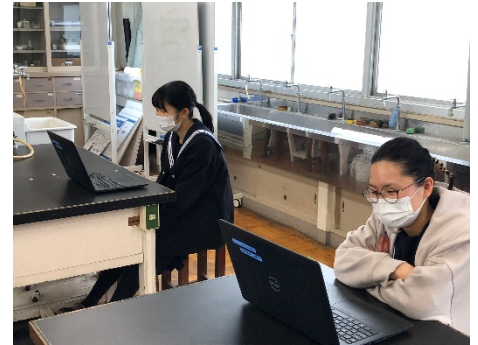
Poster Awards and Showcase では、参加者が提出したポスターが 1 月上旬に ISYF のホームページ上に公開され、投票が行われた。その投票で選ばれた上位 3 つは大会当日に口頭発表をした。私たちのポスターは残念ながら選ばれなかったが、代表校の発表を見て、ポスターのレイアウトや発表の仕方などとても勉強になった。

### 【Team Project Challenge】

Team Project Challenge では、参加者が 15 人ずつのグループに分かれて、与えられた課題について話し合い、解決策を 1 つのビデオにまとめて発表した。今年のテーマは環境問題で、私のグループでは水質汚濁について話し合った。

同じグループの人たちがたくさん意見を出している中、私は英語の会話についていっただけでも大変で、なかなか自分の意見を出すことができなかった。また、科学に関する知識が豊富で、動画の編集技術もとても高く圧倒されてしまった。しかし、ゆっくり話してくれたり、分かりやすく説明してくれたりと優しく接してくれたので会話に参加することができた。

また、日本人の若者が「了解」を「りよ」というような、省略するフレーズやよく使われる表現を、実際に交流を通して知ることができた。4 日間という短い期間で課題の解決策をまとめて発表するのは大変だったが、通常の英語の授業では体験できない密な交流を通し、グループ全員の仲を深めることができ、非常に貴重な体験ができた。



参加中の様子

オンラインで参加して思っていたよりも困ったことは少なかった。大変だったこととしては、これはこちらの通信環境が悪く、ZOOM で参加しながら複数のソフトを開くと動作が重くなってしまった。

### ●感想と今後の目標

ISYF に参加して、科学者の講演を聴いたり、文化を学んだり、いろいろな国の人と交流して充実した 4 日間を過ごすことができた。世界の人と繋がるために英語が重要であることを改めて痛感した。自分の興味のある分野の学習だけでなく、広く知識を身につけていきたいと思った。このような貴重な機会をくださり、ありがとうございました。